

続発緑内障は変わった！

Current Understanding of Secondary Glaucomas

山本哲也* 岡田アナベルあやめ**

今月号では、特集として、続発緑内障を取り上げた。その理由としていくつかあげたい。

第一に、続発緑内障がまったく異なるいくつかの疾患の集合体であるがゆえに、従来から体系的な疾患理解の試みが少ないからである。The Secondary Glaucomas (Ritch & Shields, Mosby, 1982) のような名著の出現は期待しにくい分野である。現代緑内障の主流である緑内障の視神経画像診断や視野の研究といえば、基本的には原発開放隅角緑内障(広義)が対象にされると直感的に理解されるであろう。また、狭隅角眼といえば原発閉塞隅角症・原発閉塞隅角緑内障を思い浮かべるし、新規薬剤の眼圧下降効果は原発開放隅角緑内障・高眼圧症で検討されるのが当然である。このように、現在の続発緑内障の診断、治療は、原発緑内障における知識と理解を前提として、それを適宜修飾することでなされているのである。この、光の当たらない緑内障病型に目の目を見せたいというのが一つの理由である。

第二に、続発緑内障が原発緑内障ほどには体系だてて理解されていないにもかかわらず、臨床の場では、症例数や眼圧上昇の程度から、原発緑内障と並ぶ重要な疾患であることがあげられる。血管新生緑内障、ぶどう膜炎に続発する緑内障など、急性原発閉塞隅角緑内障と同レベルの急激な眼圧上昇をきたすことは珍しくない。このため、緊急あるいは準緊急

での手術件数が多いことも続発緑内障の特徴である。ちなみに昨年1年間に岐阜大学附属病院で施行した単独のトラベクレクトミーの35%が続発緑内障を対象としていた。こうした臨床的な重要性と、診断治療の多様性は本誌特集の趣旨に馴染んでいる。

さらに、より根源的な理由として、医学や周辺科学の進歩により、新しい続発緑内障の発生、続発緑内障の新たな理解、新しい治療法など、いくつか重要なテーマが生まれていることが見逃せない。網膜硝子体疾患に対するトリアムシノロン使用頻度の増加に伴うステロイド緑内障の頻度増加、アミロイド緑内障の発症機序解明、血管新生緑内障に対する抗VEGF抗体の利用、新しい緑内障手術の本症への応用、等々、知識のアップデートが必要とされる事項は枚挙に暇がない。これらの知識をまとめることは本誌の発刊趣旨に沿ったものである。

こうした事情に鑑み、今回は、続発緑内障の基本的な理解を深めるとともに、近年の新たな状況(疾患、病因の理解、治療の進歩など)を正しく伝えることを念頭に入れ、この分野に造詣の深い先生方に執筆をお願いした。最初に、続発緑内障関連遺伝子について、布施昇男先生(東北大)に総説をお願いした。各論では、ステロイド緑内障とアミロイド緑内障をまず取り上げ、それぞれ熊本大の稲谷 大

* Tetsuya Yamamoto : 岐阜大学大学院医学系研究科眼科学分野

** Annabelle Ayame Okada : 杏林大学医学部眼科学教室

先生、川路隆博先生にお願いした。ステロイド緑内障はその疾患概念の変化とトリアムシノロン投与に伴う頻度の増加により注目されている。アミロイド緑内障は、病態がかなり明らかにされてきたことと全身管理の変化に伴う重症例の増加により、地域性の偏りはあるものの眼科医の基礎知識として重要と考える。ぶどう膜炎関連緑内障は日常的な疾患である。このため、二人の先生に病因と治療を分けて記述していただくこととし、病因を蕪城俊克先生(東京大)、治療を吉野 啓先生(杏林大)にお願いした。治療に難渋することの多い血管新生緑内障の治

療に関しては東出朋巳先生(金沢大)に手術療法を重点に記載していただいた。さらに、眼科手術と関連した緑内障として、角膜移植後の続発緑内障と硝子体手術後の続発緑内障を取り上げ、豊富な治療経験に基づく治療のあり方を、森 和彦先生(京都府立医大)と庄司信行先生(北里大)にご執筆いただいた。

各項目ともに、力作ぞろいであり、熟読吟味に値するものと信じている。最後に、玉稿をいただいたことに対して著者の先生方に感謝いたします。

年間予約購読ご案内

眼における現在から未来への情報を提供!

あたらしい眼科

2009 Vol.26

月刊/毎月30日発行 A4変形判 総140頁

定価/通常号2,415円(本体2,300円+税)(送料140円)

増刊号6,300円(本体6,000円+税)(送料204円)

年間予約購読料32,382円(増刊1冊含13冊)

(本体30,840円+税)(送料弊社負担)

■毎号の構成■

【特集】毎号特集テーマと編集者を定め、基本的事項と境界領域についての解説記事を掲載。

【原著】眼科の未来を切り開く原著論文を医学・薬学・理学・工学など多方面から募って掲載。

【連載】セミナー(写真・コンタクトレンズ・眼内レンズ・屈折矯正手術・緑内障・眼感染アレルギーなど)/新しい治療と検査/眼科医のための先端医療 他

【その他】トピックス・ニュース 他

最新情報を、整理された総説として提供!

眼科手術

日本眼科手術学会誌

2009 Vol.22

季刊/1・4・7・10月発行 A4変形判 総140頁

定価 2,520円(本体2,400円+税)(送料160円)

年間予約購読料10,080円(本体9,600円+税)

(4冊)(送料弊社負担)

■毎号の構成■

【特集】あらゆる眼科手術のそれぞれの時点における最も新しい考え方を総説の形で読者に伝達。

【原著】査読に合格した質の高い原著論文を掲載。

【その他】トピックス・ニューインストルメント 他

<http://www.medical-aoi.co.jp>

お申込方法：おとりつけの書店、また、その便宜のない場合は直接弊社あてご注文ください。

株式会社 **メディカル葵出版**

〒113-0033 東京都文京区本郷2-39-5 片岡ビル5F
振替 00100-5-69315 電話 (03) 3811-0544